

「市長との意見交換会」

開催結果

■開催概要

回	月 日	場 所	参加者数
1	5 月 13 日 (月)	北公民館	28 名
2	5 月 16 日 (木)	河東公民館	25 名
3	5 月 21 日 (火)	生涯学習総合センター	38 名
4	5 月 27 日 (月)	南公民館	27 名
5	5 月 30 日 (木)	北会津支所	22 名
6	6 月 5 日 (水)	一箕公民館	26 名
合 計			166 名

■参加者アンケート集計結果 P 1～14

■会場での意見等

- ① 5 月 13 日開催分 P 15～17
- ② 5 月 16 日開催分 P 18～20
- ③ 5 月 21 日開催分 P 21～25
- ④ 5 月 27 日開催分 P 26～30
- ⑤ 5 月 30 日開催分 P 31～36
- ⑥ 6 月 5 日開催分 P 37～42

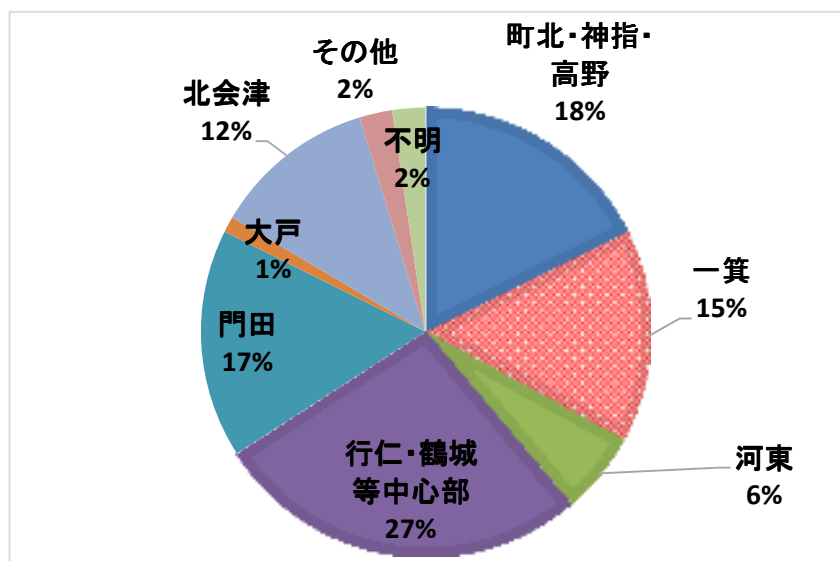
■参加者アンケート集計結果

※アンケートは、「庁舎整備基本計画」及び「県立病院跡地利活用基本構想」の賛否を問うものではなく、意見等を自由に記載いただいたものであり、回答者の意図が読み取れる範囲で集計・分類したものを下記にまとめています。

1 回答率

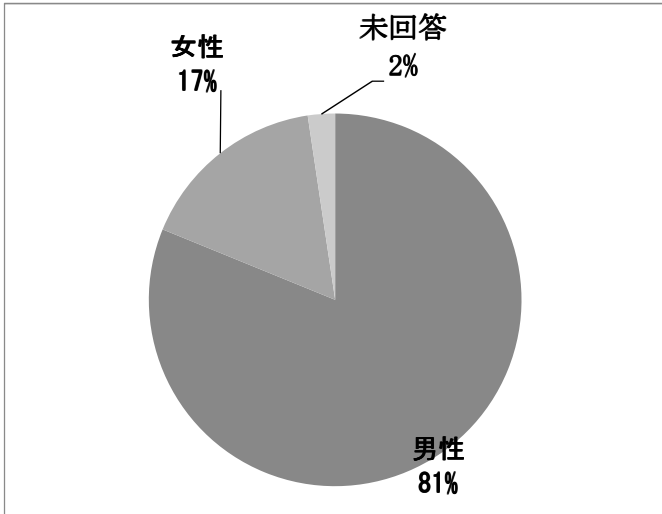
	回答数	参加者数	回答率 (%)
人数	85	166	51.2

2 居住地区



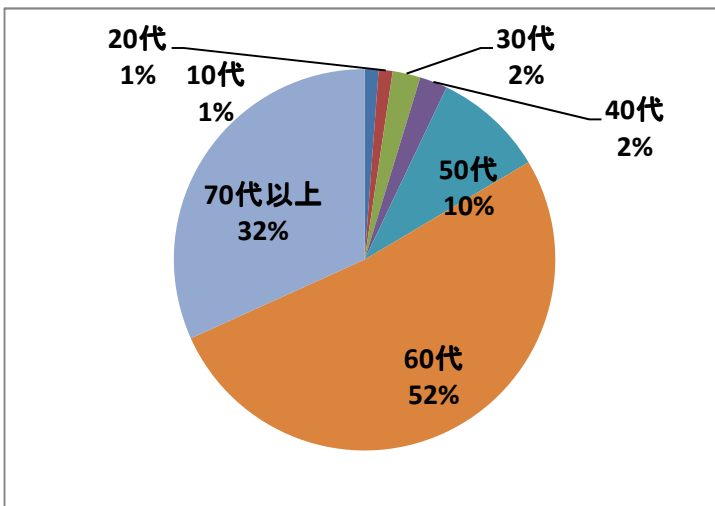
	町北・神指・高野	一箕	河東	行仁・鶴城等中心部	門田	大戸	北会津	その他	不明	合計
人数	15	13	5	23	14	1	10	2	2	85
割合	17.6%	15.3%	5.9%	27.1%	16.5%	1.2%	11.8%	2.4%	2.4%	100.0%

3 性別



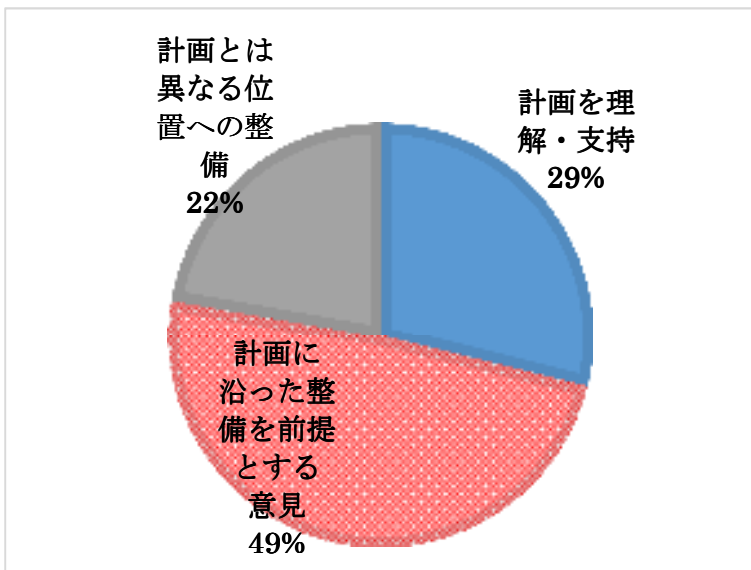
	男性	女性	未回答	合計
人数	69	14	2	85
割合	81.2%	16.5%	2.4%	100%

4 年代



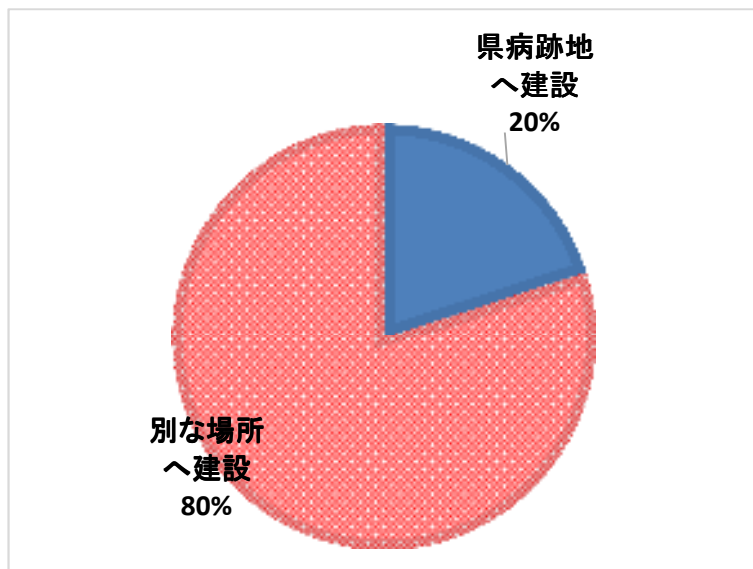
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
人数	1	1	2	2	8	44	27	85
割合	1.2%	1.2%	2.4%	2.4%	9.4%	51.8%	31.8%	100%

5 庁舎整備の位置に関する意見



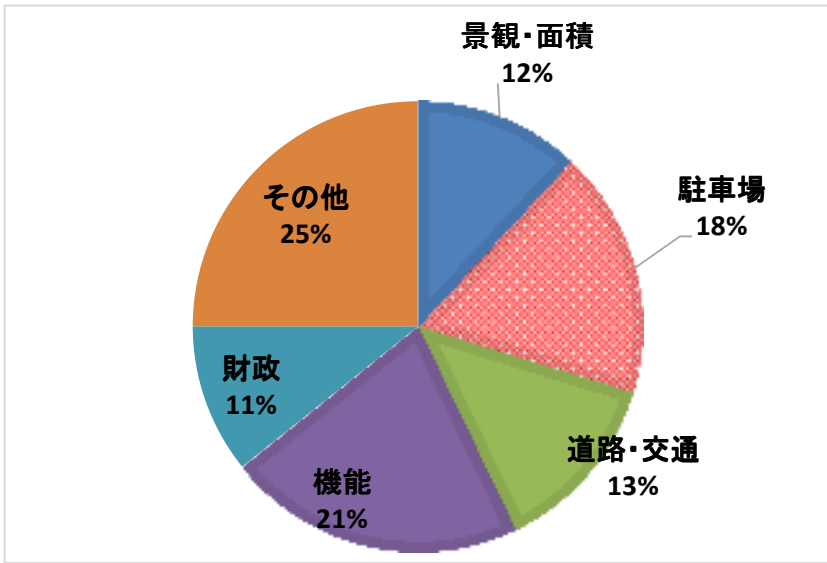
	計画を理解・支持	計画に沿った整備（位置）を前提とした意見	計画とは異なる位置への整備	合計
人数	13	22	10	45
割合	28.9%	48.9%	22.2%	100%

5-1 計画とは異なる位置への整備の意見内訳



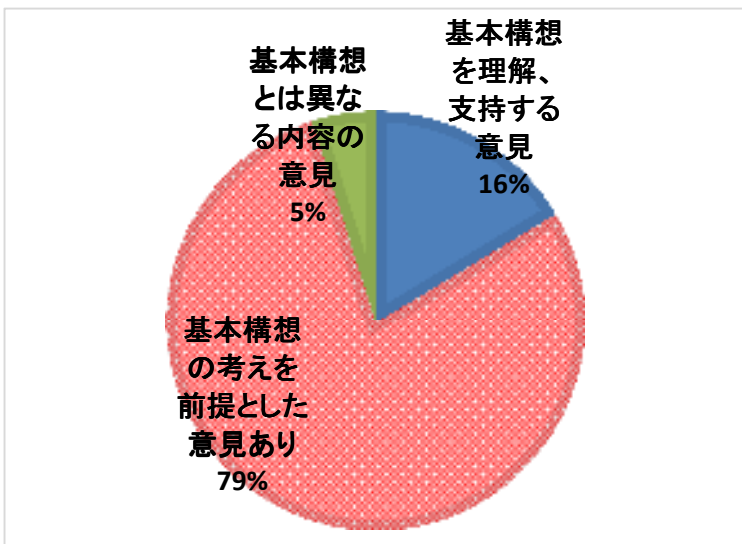
	県病跡地へ建設	別な場所へ建設	合計
人数	2	8	10
割合	20.0%	80.0%	100.0%

5-2 意見の内容分類 ※複数回答あり



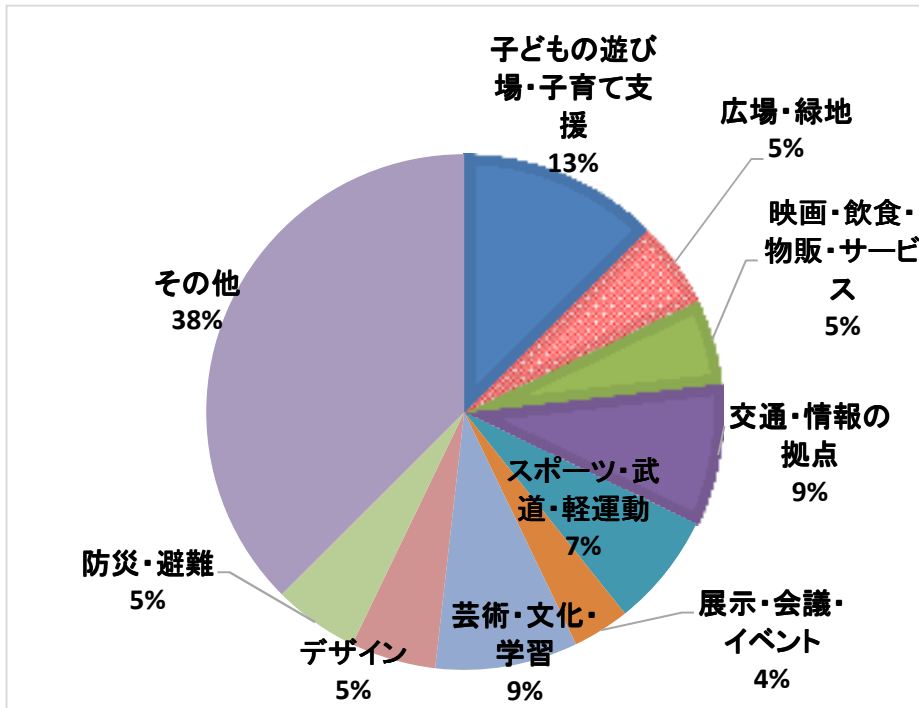
	景観・面積	駐車場	道路・交通	機能	財政	その他	合計
件数	10	15	11	18	9	21	84
割合	11.9%	17.9%	13.1%	21.4%	10.7%	25.0%	100%

6 県立病院跡地利活用への意見



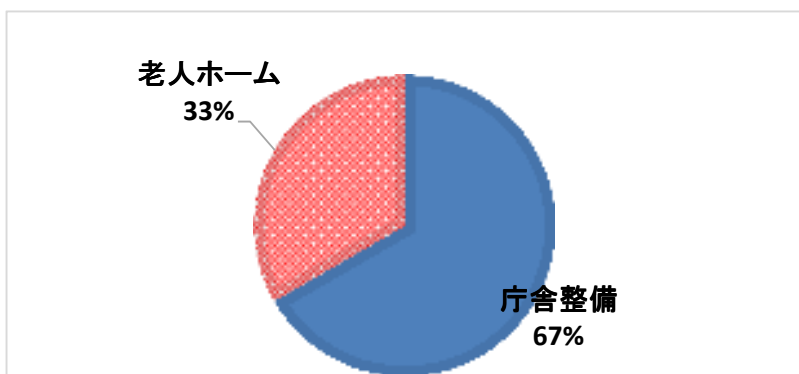
	基本構想を理解、支持する意見	基本構想の考えを前提とした意見あり	基本構想とは異なる内容の意見	合計
人数	10	48	3	61
割合	16.4%	78.7%	4.9%	100%

6-1 基本構想の考えを前提とした意見 ※複数回答あり



	子どもの遊び場、子育て支援	広場緑地	映画飲食物販サービス	交通情報の拠点	スポーツ武道軽運動	展示会議イベント	芸術文化学習	デザイン	防災避難	その他	合計
件数	7	3	3	5	4	2	5	3	3	21	56
割合	12.5%	5.4%	5.4%	8.9%	7.1%	3.6%	8.9%	5.4%	5.4%	37.5%	100%

6-2 基本構想とは異なる内容の意見の内訳について



	庁舎整備	老人ホーム	合計
人数	2	1	3
割合	66.7%	33.3%	100.0%

■いただいた主なご意見等

1 庁舎整備への意見

(1) 位置に関連する意見

①庁舎整備基本計画に沿った整備を理解・支持する意見

- ・賛成です。立派な庁舎になることを期待していますが、東日本大震災クラスの地震等に耐えられるかどうか？防災について、防災訓練は毎年実施されているが、避難訓練も早く実施して欲しい。
- ・現構想に賛同できる部分は多く有。質問項目の駐車場の有料化はいいことではないか。
- ・市庁舎の歴史・今後の計画について良く理解できました。本庁舎休館の免震レトロフィットによる保存、そして新庁舎への集約、賛成です。早い実現を希望します。
- ・プラン、いろいろ分かりました。つくられても多少の異論が発生するでしょうが、思い切って決断して下さい。早めの実現してもらいたい。
- ・様々な観点から検討の結果であることを理解した。
- ・庁舎検討懇談会の示す方向性で計画的に建設して欲しい。人口減少の中で市債は極力少なく実施の事。
- ・現在の庁舎整備基本計画で申し分ない。
- ・コンパクトなまちづくり、流動人口が多い、コスト低減の観点から庁舎整備に取り組む。納得できる内容だった。
- ・市役所建て替えについて本日初めて知った。今日のお話を聞いて、私はとてもいいと思った。未だに反対意見も多いようですが。
- ・少子高齢化が進む中、右肩上がりの時代郊外々へと住宅地が延伸したが、これからは今迄のパイが縮小する訳で、市中心部の集中化となってしまう訳で、当然庁舎整備は現在地で良いと考えます。

②庁舎整備基本計画とは異なる位置への整備の意見

【県立病院】

- ・経過がよく分かりました。庁舎は県立病院跡地が駐車に便利です。これからを見すえて、市の発展を見すえて。
- ・県立の跡地が良いと思う。強く要望します。

【別な場所へ建設】

- ・市中心は観光を主として活用し、市庁舎は外へ、分庁舎は廃止して売却するようにすれば事業費に当てる。
- ・庁舎検討懇談会 古い時代の環境条件にもとづいて考えられている。現在の場所では会津のランドマークにはなり得ない。
- ・狭い場所で何だかちまちまとしている感じに受け取りました。
- ・鶴城小を他校へ移動（行仁小・東山小・城南小・謹教小への）。10 億円位で改装して、基金の残りは 390 億円の借金返済にあてるべきと思う。
- ・市の財政は厳しい。その現状から費用の抑制ではなく、手持金 42 億で対応できるような基本方針で進めてほしい。そのためには新しい場所に立て替えた方がよい。利便性の点では 1 つにまとめた方がよいし、IOT 機能を使うなどスマートシティを目指してほしい。
- ・市民の安全を考えると納得出来ない。
- ・庁舎整備については、決定事項の報告会では意味が無い。庁舎と駐車場は同一敷地であるべき。
- ・新しく全部造るべき。駐車場から庁舎へ歩くのも狭い市道で危険。現在のやり方・方針では、後に高額費用を要するため間違い。最終的に高上りの金額になり、更に近いうちに再度修繕しなければならない時期がくる。廊下は狭いし、ユニバーサルデザイン式の廊下には、本庁舎（旧庁舎）はならない。不便きまわりなくなる。床や階段は擦り減って改修費が高つく。旧本館は博物館等に使用すべき（伊達役所のように）、そうすれば、あまり歩かない為に床や階段は今までよりは擦り減らない。

(2) 計画に沿った整備を前提とする意見及びその他の意見（提案の内容分類）

①景観・面積

- ・歴史がある会津若松に合う庁舎を建設してほしい。
- ・今後の人口の推移、職員・議員の数がどうなるのかを予想して、庁舎の広さを決めるべき。
- ・現庁舎の「石づくりの建造物」は何らかの形で残してほしい。中身は職員が働きやすく、効率的な（市民サービスに効果）、明るく親切なつくり。市庁舎は11万市民みんなが利活用お世話になるものだから、痛みは分かち合える、（一部の市民のものでないから）わかりあえる。

②駐車場

- ・周辺道路整備、謹教小跡地の駐車場は多層化してエレベーターを設置する。
- ・具体的な話が聞かれて良かった。今のテニスコートを駐車場にすれば他所から来ても分かりやすい。第二庁舎では分かりづらいのではないか。
- ・駐車場は立体にして、神明通りの活性化を含めた考えで対応してほしい。
- ・工事中における分散される市の業務のあり方、駐車スペースと駐車場からの移動（歩行）方法、庁舎へ用が有る人の安全と利便性を考慮願いたい。
- ・駐車場を安全に使用できるように。

③道路・交通

- ・第2庁舎（駐車場）から市役所への道路整備をお願いしたい。
- ・庁舎整備について、同時に交通の件についても検討すべきだと思います。
- ・駐車機能の整備が大切、駐車場から新庁舎までの歩道をしっかり整備してほしい。（車道と歩道を分ける…交通事故防止）
- ・現状の計画に賛成、周辺道路の整備、機能見直しが必要。
- ・工事中における分散される市の業務のあり方、駐車スペースと駐車場からの移動（歩行）方法、庁舎へ用が有る人の安全と利便性を考慮願いたい。
- ・市庁舎建設に伴う周辺道路の整備も含めて、検討してほしいです。

④機能

- ・バリアフリーを。市役所を訪れなくてもすむような、電子化なり、外部委託なりをすすめて欲しい。
- ・市民にとって利便性向上、福祉向上を優先して行って頂きますようお願いいたします。
- ・本庁機能の一部を河東支所又は北会津支所の活用等可能であれば検討願いたい。
- ・市民スペースの軽飲食コーナーの設置（障害者の働く場所として）。利用者目線にたった設備等、押しボタン等。
- ・市民サービスを中心に考えてほしい。
- ・旧役所は市長の説明の外に、一部美術館の機能を持たせた方がよい。
- ・市民・職員が不便にならないようにしてほしい。

⑤財政

- ・将来を見通した庁舎整備としてほしい。
- ・人口減少に対応した資金計画。市民スペースの軽飲食コーナーの設置（障害者の働く場所として）。利用者目線に対した設備等、押しボタン等。
- ・確かに人口が少なくなる事に不安があります（今の若い人のサラリーも安い。これ以上の税金かわいそう）。94億円+9億円との事、私には想像もできないお金なので、税金あがるのかな？と心配しています。

⑥その他

- ・意見を大切に取り扱いして下さい。
- ・新しい物、古き良き物の融合も大事な事だと思うので慎重に。
- ・本日の意見交換会のような機会を通じて、地域住民の声を聞きながら進めていくことが、いずれ市民の満足度を高めることになると思う。
- ・今日初めて、庁舎整備について市長より説明を受け、現況を知った。これからも市民の意見を聞き、市民に好かれる庁舎にしてもらいたい。
- ・色々検討されており、もう少し進んだらまたお話をお聞きしたい。
- ・仕分け作業-市役所に来庁（必要→短時間化、不必要）。市民の窓口は駐車場に隣地。AI・ICTのフル活用。働き方改革で自宅で出来る仕事を最大限活用する。

2 県立病院跡地利活用への意見

(1) 基本構想を理解、指示する意見

- ・ 早く実現して欲しい。
- ・ 注視しながら、地元民として関わって参加してまいります。
- ・ 早めに計画を立てていただきたい。
- ・ 検討の視点について理解した。
- ・ 子供達が安全で安心して遊べる、屋内の遊び場が出来ると良いと思います。
- ・ 今後もスケジュール毎に説明してもらえれば、市民は理解していけると思う。
- ・ 建築物は最小限にして、利用状況で変えられるように考慮してほしい。
- ・ 大変いい場所だと思うので、今後の市民の意見を取り入れながら、よりよい利活用ができるよう検討してほしい。
- ・ これからがどのように実現するか楽しみ。きちんと見ていきたい。
- ・ 理解できた。

(2) 基本構想に含まれる機能の提案等 ※複数回答あり

①子どもの遊び場・子育て支援

- ・ 将来ある子供達を第一に考えてほしいです。少子化の問題もありますが！現在、子供の遊び場が少ない。
- ・ 今まで何回も議員との対話集会に参加して、意見は伝えて来た。子どもや高齢者が一緒に学ぶような所が有っても良いと思う。
- ・ 飲食や物販、ありきたりかと思います。全天候型、子ども向け、民間委託が良いと思います。形がいびつな為、正方形・長方形型になるよう市営団地も移設、取り壊し等したらよいと思います。
- ・ 複合商業施設等を建てて活用してはどうか。(子供の遊び場も含む)

- ・追加として①やすらぎの場として、マッサージ機（有料）を何台か置く。子育てお母さんのためのやすらぎの場が必要ではないか。②展示（イベント）について。市民の方々が多く参加できるような展示（イベント）の仕組みにしたらどうか。
- ・子育てしやすい町会津若松を強調し、若者の定着、出生率を増やすことを最重要課題とし、県立病院跡地利用は子育て支援を第一と考えてほしい。子育てに悩む若いママがいかに多いか。
- ・鶴ヶ城を中心として、市民・観光客が気楽に集まれる場所・施設となるべき。冬期間、屋内で過ごせる子供達の施設が必要、又、市営プール・鶴城体育館・グラウンド（多目的）等の周辺との相乗効果を考えなければならない。

②広場・緑地

- ・いつ起きるかわからない災害の為に、現在のまま、又は舗装の状態で置く事はできないでしょうか？花見の期間や会津まつりの駐車スペースになれば十分だと思います。
- ・建物よりも集いの場所に創っていただきたい。建物よりも広い土地に樹木や草地を設け、憩いの場所を造ってほしい。自由に発表できる場なども考えて欲しい。
- ・風雅堂でコンサートが催された場合、駐車場として活用しているが、出口が1ヶ所ですら出るまでに相当時間がかかる。2～3ヶ所に増加して車がスムーズに出られるようにしてほしい。多目的広場の有効活用に期待したい。

③映画・飲食・物販・サービス

- ・映画館等若者が集える場所を求める。子供や高齢者だけにとどめないでほしい、若者の流失を防止したい。強く防災スペース希望。
- ・複合商業施設等を建てて活用してはどうか。（子供の遊び場も含む）
- ・ぜひ、映画館を検討すべきだと思う。高校生からの意見にあったように、学生が集まる施設になるはず。学生達の要望も満たしていくことで、Uターン就職、若い世代が会津に根付くことにつながると思う。

④交通・情報の拠点

- ・観光客の駐車場を風雅堂の催しの際の駐車場の利用を考えて、少しは確保してほしい。

- ・観光駐車場として活用、電源を確保して建物をつくらない。
- ・観光客の増に伴う駐車場確保も検討してほしい。
- ・いつ起きるかわからない災害の為に、現在のまま、又は舗装の状態で置く事はできないでしょうか？花見の期間や会津まつりの駐車スペースになれば十分だと思います。
- ・風雅堂でコンサートが催された場合、駐車場として活用しているが、出口が1ヶ所です出るまでに相当時間がかかる。2～3ヶ所に増加して車がスムーズに出られるようにしてほしい。多目的広場の有効活用に期待したい。

⑤スポーツ・武道・軽運動

- ・市庁舎整備が決定したようなので基本賛成。私としては、市役所を建設してほしい。武道館建設も継続して頑張してほしい。
- ・体育館と公民館を併せた設備があれば良いと思います。
- ・カルチャーセンター、運動施設等を含めた施設にしてほしい。
- ・小・中・高校生が活用できる場を作ってほしい。

⑥展示・会議・イベント

- ・体育館と公民館を併せた設備があれば良いと思います。
- ・追加として①やすらぎの場として、マッサージ機（有料）を何台か置く。子育てお母さんのためのやすらぎの場が必要ではないか。②展示（イベント）について。市民の方々が多く参加できるような展示（イベント）の仕組みにしたらどうか。

⑦芸術・文化・学習

- ・日新館を移設したらどうか。
- ・①葵高校又は会津工業高校の建設を希望する。②大学の誘致を検討してほしい。③常設の美術館が欲しい。
- ・何かを整備するにしても、施設の利用を福祉、教育にしても子供の育成には大事と思う。子供及びボランティア団体の体験を通して学ぶ、また考えられる人材育

成の機能を備えられるようにしたい。

- ・カルチャーセンター、運動施設等を含めた施設にしてほしい。
- ・小・中・高校生が活用できる場を作ってほしい。

⑧デザイン

- ・やはりありきたり。人をひきつけるデザインとは？具体的に知りたかった。若者はあまり期待していません。
- ・鶴ヶ城との連携施設、観光及び会津全域の若者が集まりたくなる魅力的な施設の提供を希望します。
- ・需要調査の結果をみて、会津ならではの施設を望む。

⑨防災・避難

- ・防災施設が必要かと思う。
- ・道の駅・川の駅の利用、防災ステーション、インフラ整備。
- ・箱物は必要ない。土地を取得した意図が明確でないのが問題である。これもあれもいろいろな機能を取り入れた構想では、市役所建設と同様混乱してしまい本末転倒になる。維持費のかからない、防災発生時の対応に活用する程度でよいのではないか。市民の負担が増えないようにしてほしい。

⑩その他

- ・長い将来を見据えた計画を作ってほしい。
- ・跡地ができたから又、箱物を作ると言う考えは、市民が年々増で収入も増の時は良いが、今は違うのではと考える。
- ・アブ・ハチ取らずにならないよう焦点をしばって活用を考えて欲しい。
- ・24 時間フル活動。市民の多くが利活用できる施設。AI・ICT で健康診断、法律相談。
- ・主に福利厚生面の活動の場になればと思います。
- ・跡地はここだけではないので、今後発生が見込まれる土地についても総合的に考慮しなくては？また、その土地についても居住が優先される場合、商業地その他、現在土地周囲がどのように使用されているかを考慮しなければならないのでは？

- ・芸術文化学習については会津稽古堂およびまなべこで対処できるのではないか、文化センターも利用できるのではないか。スポーツに関しては、鶴ヶ城体育館の活用の見直しをしていけないだろうか。
- ・建物は維持管理を考えて。
- ・跡地の南側の道路が狭いので、広くしてほしい。交通渋滞になって大変ではないか。
- ・鶴ヶ城を中心として、市民・観光客が気楽に集まれる場所・施設となるべき。冬期間、屋内で過ごせる子供達の施設が必要、又、市営プール・鶴城体育館・グラウンド（多目的）等の周辺との相乗効果を考えなければならない。
- ・福祉的な役割を大いに取り入れて欲しい！会津の地域共生社会の中心となるものが必要だと思っています。

（3）基本構想とは異なる意見

①庁舎を整備すべき

- ・庁舎として整備すべき場所と考える。
- ・新庁舎及び総合レジャー施設の検討をしていただきたい。

②老人ホームを建設すべき

- ・市営の老人ホームを建てる。1人暮らしの老人が増えていくので、市が面倒をみられるようにする。

令和元年度 「市長との意見交換会」 実施報告①

- 1 件名 「市長との意見交換会」
- 2 日時 令和元年5月13日（月） 18:30～20:30
- 3 場所 北公民館 会議室1・2
- 4 参加者数 述べ38人
内訳 市民の方24名
記者4名 福島民報、福島民友、朝日新聞、河北新報
会津若松市10名 会津若松市長
企画政策部 福島部長、鶴川企画副参事
企画調整課 斎藤課長、青山主幹、五十嵐副主幹
千葉副主幹、佐藤主査
庁舎整備室 佐藤室長、宮崎副主幹
- 5 テーマ 「庁舎整備と県立病院跡地利活用」

6 内容及び発言要旨

- (1) 「庁舎整備計画」と「県立病院跡地利活用基本構想」について（60分）※市長説明
- (2) 意見交換（60分）

■庁舎整備について

（市民Aさん） 県立病院跡地へ庁舎を建設し、県立病院跡地利活用基本構想の機能も集約すればよい。広い駐車場ができて便利。栄町第二庁舎は駐車場が混んでいて、本庁舎までの道路は狭く歩いていくのは不便だし、危険だと思う。

（市長） これからは大きな庁舎はいらないと思う。今の場所に機能を集約した庁舎を建てることを計画した。県立病院跡地に新庁舎を建てると、配置にもよるが駐車場から建物まで結構な距離が想定され駐車場にも車が走る通路が必要となる。また、今ある本庁舎をどう活用するかという問題が残る。

（庁舎室長） 本庁舎旧館を残しながら、県立病院跡地に新庁舎を建てると、議会機能分の面積が増え、その分の経費がより多くかかる。また、現在地周辺はこれまでインフラ整備を進めてきており、公共交通も充実している。

（市長） 県立病院跡地での庁舎整備も検討したが、現在地にコンパクトに建てることを計画している。県立病院跡地は、これまで県営武道館建設の要望もあり、これは現在もあるものであり、これらを含めて引き続き検討を進める。

(市民Aさん) 庁舎の計画段階では、県立病院跡地の払い下げの話はなかった。状況は変化しており、これを検討に加えてほしい。

(市長) 議会でもその質問はあった。これまでの検討経過があつて今の方向性があることをご理解願いたい。

(市民Aさん) 武道館機能を併設して庁舎を県立病院跡地に建ててしまえば、財政負担も軽減できると思う。

(市民Bさん) 現在地で庁舎を建て替えると駐車場が分散してしまう。第二庁舎(駐車場)から本庁舎へ狭い道を歩くことになる。電柱の地中化は費用がかかる。市民が歩きやすい動線、事故のない歩道が必要(縁石の設置など)。謹教小跡地の本庁舎に近い場所に駐車場を検討してほしい。

(庁舎室長) 周辺道路の整備や安全対策について検討していく。また、謹教小跡地での駐車場の設置については、葵高校と協議をはじめている。

(市長) 本庁舎の南側の道路は拡幅、隅切りを行い、東側道路も広げることを想定している。謹教小学校跡地の駐車場は、2階建てとし庁舎とつなぐ通路なども検討したい。

(市民Cさん) 現在地周辺の道路は狭く、一方通行が多い。一方通行を整理し、駐車場の空き状況なども含めた電光掲示板などの表示を整備してほしい。また、一方通行を見直し、周辺道路も整備を進めてほしい。

(市民Dさん) 視察等の受け入れのため、大型バスを停める場所がある。また、観光や特に冬場の交通のためにも一方通行を見直し、周辺道路も整備を進めてほしい。

(市民Eさん) 駅西に庁舎を建設する計画がとりやめとなった。市ではなく全会津を考えなければ発展しない。駅西の開発を増やし、新庁舎を高速道路近くに建てるべきである。大型デパートや映画館はなく山形や郡山へ若い人が出ている。交通がスムーズでないと観光もうまくいかない。県立病院跡地が空いたから買うのではなく、新たな拠点をつくる視点が必要。門田地区からその他の地区へ住宅を分散させる必要がある。

(市長) 今は、門田地区の人口は減っており、扇町地区が増えている。

(市民Fさん) 庁舎での職員の駐車場は。

(市長) 自費で各自借りている。

(市民Fさん) 菅家市長時代に中越地震があり、小千谷市に行った時、市役所へスムーズに行けた。信号機は停止し、警察の手信号だった。災害時の交通アクセスを考えると、信号機が多い現在地での建替で大丈夫か。

(市長) 業務継続計画を策定し、地震直後にすべき業務をまとめている。また、主要な道路の信号機の電源は地震などの災害に対応していると思うし、電気の復旧は早い。

■県立病院跡地利活用について

(市民Gさん) 今の日新館の場所が不思議。日新館は観光など様々な機能を持つので、観光都市として、また、教育・文化の機能を持つ藩校としても、県立病院跡地へ持ってくるのが良いと思う。

■その他

(市民Aさん) ふるさと納税で湯川村が米で収入増加となっているので、市もやるべきだ。また、市は美術品の収蔵庫がないので、工芸品が県立博物館へ寄付されている。当面は、市に寄付してもらい、市が県立博物館へ管理を委託すればよいと思う。本庁舎旧館を観光の一躍を担う美術館やギャラリーとして活用し、県立病院跡地へ新庁舎を建ててほしい。

(市長) 市も米を返礼品として設けた経過はある。また、工芸品の展示については、管理するための設備が市にないので、県立博物館への寄付となってしまった。県へ企画展示を働きかけていきたい。

(市民Hさん) 孫が2年生で永和小学校へ通学している。121号線と中前田から上高野へ行くところ、以前は、大型車が侵入禁止だったが今は通れる状況。7:00~8:00は通勤の交通量が多い。時間短縮の抜け道になっている。沼木集落の狭い道路を通る。交通第一課長と現場を確認している。道路の拡幅などについて危機管理課へ要望書を出したい。

(市民Iさん) 永和小の校長から要望も出ており、区長会などとの連名で要望書を出したい。

令和元年度 「市長との意見交換会」 実施報告②

- 1 件名 「市長との意見交換会」
- 2 日時 令和元年5月16日（木） 18:30～19:50
- 3 場所 河東公民館 会議室1・2
- 4 参加者数 述べ36人
内訳 市民の方24名
記者1名 朝日新聞
会津若松市11名 会津若松市長
企画政策部 福島部長、鶴川企画副参事
企画調整課 斎藤課長、千葉副主幹、廣瀬副主幹、
小山主任主事
庁舎整備室 佐藤室長、青山副主幹
河東支所 小島支所長、磯住民福祉課長
- 5 テーマ 「庁舎整備と県立病院跡地利活用」

6 内容及び発言要旨

- (1) 「庁舎整備計画」と「県立病院跡地利活用基本構想」について（50分）※市長説明
- (2) 意見交換（30分）

■庁舎整備について

- （市民Aさん）今は、農繁期で農家の参加が難しいことから、意見交換会の開催時期の設定について配慮してほしい。庁舎整備のこれまでの検討経過は理解するが、新庁舎は県立病院跡地が良いと思う。今回は、設計に入る前に、市民に意見を求め、反映していく主旨と理解している。下水道課は、水道部庁舎へ移転すると聞いているが、なぜ、水道部は、総合庁舎である本庁舎へ移転させないのか。
- （市長） 水道部の庁舎はまだ活用できる状態であり、活用できるスペースがあった。全ての部署を集めてしまうと、来庁者も集中し、駐車場の問題も出てくる。また水道事業は公営事業として運営しているということもある。
- （市民Aさん） 水道部の庁舎では、会議室をつぶして下水道課の執務スペースとすると聞いているがどうかと思う。
- （市長） 水道部が本庁舎へ移転するか、下水道課が水道部庁舎へ移転するのだが、水道部庁舎が下水道課を受け入れるスペースがあったということ。
- （市民Bさん） 北会津支所、河東支所は空き部屋があると聞いている。本庁舎の機能の一部を移転できないか。改築コストが抑えられると思う。

- (市長) どんな機能を集めた本庁舎とするかは引き続き検討していく。
- (市民Cさん) 新庁舎は16,000㎡とのことだが現在の庁舎面積は。議場は残すのか。
- (市長) 議場は残す予定。
- (庁舎室長) 現在の第一、第二、本庁舎の面積をあわせると10,800㎡であり、かなり狭い。総務省の基準で算出した22,000㎡よりも新庁舎は抑えており、現状の面積に、会議室、エレベーター、通行スペースなどを加え16,000㎡としている。
- 現在の議場へ行くための本庁舎中庭側の外付け階段、総務部長室から議場へ行くための階段は撤去予定。代わりに、別な階段、エレベーターを設置予定。場所は設計段階での検討となる。
- (市民Aさん) 第二庁舎が駐車場となると、本庁舎へ行くための道路が狭く危険と考えるが、道路拡幅、安全対策についてはどうか。
- (市長) 本庁舎南側、東側の道路の拡幅などは検討している。謹教小跡地の駐車場と新庁舎を通路などでつなぐことも可能であり、様々な検討を行っている。
- (庁舎室長) 安全確保のため道路担当と協議しており、検討を進めている。
- (市長) 立地適正化計画を策定検討しており、国からの交付金の確保に努めていく。

■県立病院跡地利活用について

- (市民Cさん) 県立病院跡地へ武道館、美術館の建設を検討しているのか。また会津能楽堂のように、民間に建設してもらい寄付をもらうことも想定しているのか。
- (市長) 寄付については未知数であり今のところ想定していない。
- 武道館建設については、会津若松商工会議所が要望している。會津風雅堂には広いホールはあるが、中小の会議室機能をもったコンベンション機能が近くにない。
- 市民の方からは、計242件の提案をいただいた。様々な可能性は想定しており、今後も皆様のご意見を聞いていきたい。
- (市民Cさん) 会津美里町では、庁舎及び文化複合施設が建設された。県立病院跡地も一つの機能のみの建設なら、再考すべきだ。
- (市長) ご意見として承りたい。
- 広いスペースなので、様々な協議の中で可能性を検討していきたい。
- (市民Dさん) 県立病院跡地は取得の方向か。また取得費は。
- (市長) 平成29年3月に、県に市が取得を希望する旨を伝えている。
- (企画課長) 県が行った不動産鑑定評価の結果では8億3,000千万円。

(市民Dさん) 庁舎整備、県立病院跡地購入により、財政はひっ迫するのではないか。

(市長) 市はこれまで鶴城小学校、行仁小学校などの学校改築や学校施設の耐震化に取り組んできたが、平成32年度に終了予定であり、その分の整備費用相当額で他の事業が実施できる。学校施設へのエアコン設置など突発的な対応も行っている。

議会においても、駅前整備、庁舎整備、県立病院跡地、ごみ処理場の建設などによる財政への質疑を受けており、財政計画をしっかりと検討しながら進めていく。

また、駅前整備と県立病院跡地には、まちの拠点整備等基金11.5億円を活用でき、庁舎整備には庁舎整備基金41億円を活用できる。実施設計段階にならないと総額は分からないが、今後も精査していく。

■その他（なし）

令和元年度 「市長との意見交換会」 実施報告③

- 1 件名 「市長との意見交換会」
- 2 日時 令和元年5月21日（火） 18:30～20:30
- 3 場所 生涯学習総合センター 研修室2・3
- 4 参加者数 述べ49人
内訳 市民の方34名
記者4名 福島民報、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞
会津若松市11名 会津若松市長
企画政策部 福島部長、鶴川企画副参事
企画調整課 斎藤課長、青山主幹、千葉副主幹
廣瀬副主幹、小山主任主事
庁舎整備室 佐藤室長、宮崎副主幹、青山副主幹
- 5 テーマ 「庁舎整備と県立病院跡地利活用」
- 6 内容及び発言要旨
 - (1) 「庁舎整備計画」と「県立病院跡地利活用基本構想」について（60分）※市長説明
 - (2) 意見交換（60分）

■庁舎整備について

（市民Aさん）これから20年先、人口はどのくらいになるのか。

（企画課長）平成27年に策定した「会津若松市まち・ひと・しごと人口ビジョン」では、本市の人口は、何も対策を講じなければ2035年には10万人を切り、2060年には65,000人程度まで減少すると推計しているが、市としては10万人を維持するため、出生率の増加、交流人口の増加などの取組を第7次総合計画に位置づけている。

（市長）人口が減少していくことは考えなければならないが、ICTにより生活が便利になる方向にある。

（市民Bさん）庁舎周辺の道路は現状のままでいいのか。駐車場は、謹教小跡地でテニスコートになっているところを活用したら良いのではないか。

（市長）本庁舎の南側の道路をどのように拡張できるか、また、隅切りの設置なども検討していく。謹教小跡地については、葵高校の部室の移転が可能となれば、

100 台程度の駐車スペースの確保が可能と見込んでいる。現在、その可能性を含め葵高校と協議を行っている。

(市民Cさん) 新庁舎は維持管理に年間 2.2 億円かかるとのことだが、現在の施設はどのくらいかかっているのか。

(庁舎室長) 現在の本庁舎、第一庁舎、第二庁舎、第三庁舎の維持管理費は、年間 1.5 億円から 1.7 億円程度。

(市民Cさん) 再生可能エネルギーの活用とは。

(市長) ソーラーパネルを屋上に設置することなどが考えられる。

(市民Cさん) 新庁舎は 6 階まで必要なのか。4 階程度にできないのか。地下駐車場は検討しているのか。第一庁舎などは活用するのか。

(市長) 第一庁舎の建物は残して、各種団体による活用を検討している。第三庁舎は借りているので、かえすことになる。

(市民Cさん) 駐車場は有料化を検討しているのか。

(庁舎室長) 地下駐車場は検討したが費用が高額となる。駐車場の有料化については、他市の事例でも有料が主流となってきているが、市役所に用事がある方は無料となっている。これらは今後検討を進めていく。

(市民Cさん) 防災の機能は十分か。災害は夜も起こる。

(市長) 地震に強い新庁舎となる。市では、業務継続計画を策定しており、災害時に対応すべきことをまとめている。

(市民Dさん) 庁舎検討懇談会の意見では、新庁舎をその他の位置とする場合「人の流れを大きく変えることとなり、人口減少社会の中で、こうしたまちの流動化を受け入れることは難しい」とあるが、人口減少社会の中、人口の流動化により、まちを活性化させるという考え方もできる。現在地での建て替えは、県立病院跡地の話がなかった時の考え方だが、今後もその考えを変えることはないと理解してよいのか。現在地に新庁舎を建設した場合、第二庁舎（駐車場）から本庁舎までの車も自転車も人も一緒に狭い道路を市民は今後 100 年、ずっと通らなければならないのか。

(市長) 820 人が勤務する庁舎。周辺には、様々な仕事や関わりのある人がいる。新庁舎を別な場所に建てることでまちが新しくなるという考え方もあり、検討もしてきた。まちが変わることに対する責任もある。中心市街地の活性化という取組もしている。人口が減る中であっては、コンパクトなまち、庁舎をつくっていきたい。仮に県立病院跡地に新庁舎を建てた場合、本庁舎旧館を何に活用するのかという問題も出てくる。新庁舎については、かなり以前から様々な検討

がなされ、その中で、現在地で建て替えるという形となってきたが、様々な議論があることは受け止めなければならないと考えている。

第二庁舎（駐車場）から本庁舎までの道路の状況は認識しており、安全対策は重要と考えている。また、県立病院跡地に新庁舎を建設した場合でも、駐車場と新庁舎は一定程度の距離が離れ、広い駐車場の中で車が行き来する中を庁舎まで歩くことにはなる。その他、謹教小跡地の駐車場を2階建てにするという選択肢もある。

（市民Eさん） 庁舎を統合してしまうことに賛成しかねる。周辺の店は閉店し駐車場と
なっており、空洞化が進んでいる。本庁舎、第一庁舎、第二庁舎、第三庁舎と
4つに分かれている庁舎を統合すれば、職員にとって業務は効率化されるかもし
れないが、市民にとっては今の方が便利だと思う。本庁舎は6階建から4階
程度に低くして、第二庁舎は子供関連、高齢者、障がい者など福祉的な相談の
場となっているのでそのまま残してほしい。庁舎が統合されれば、遠い駐車場
から歩いた後、新庁舎ではエレベーターに乗り移動しなければならなくなる。

（市長） 市側の視点だけではなく、周辺の人、事業者の視点も重要だと思う。新庁舎
のシミュレーションでは、敷地内に、体の不自由な方のための18台程度の駐
車スペースの設置をあげている。第二庁舎を解体するのは、整備期間の最後
の方になる予定。

■ 県立病院跡地利活用について

（市民Fさん） 様々な案があったと思う。新庁舎も建設する中で、県立病院跡地の整備に
はお金をかけられないと思う。森林公園という形もあると思う。古い公民館の
外観をした建物を建設し、第二庁舎機能を一時的に移すなど、時間差による本
庁舎建設という考えもあると思う。利活用の図面を書いてきた。薄い金属の板
を半径、ウェーブ状にしたNASAの防護シェルターがあり、災害物資を入れた
り、冬は子供のスポーツにも活用できるし、屋台などのイベントもできる。
また、第一庁舎の建物は、NPOや官民連携で運営し、資金を得ることも可能と
思う。

（市長） 柔軟な活用という部分は、市としても考えている。すぐに箱物ということでは
なく、まずは機能の絞り込みを行う。観光駐車場としての機能も必要と考えて
いる。ご提案があったキッチンカーなども良いと思う。

(市民Gさん) 鶴ヶ城のボランティアを勤めている。構想の案は市民中心だが、現在、西出丸駐車場は出入りが不便であり、観光客のために、県立病院跡地に山形県にある上杉博物館のような施設や駐車場を整備することを提案したい。鶴ヶ城の展示物をそこへ移し、鶴ヶ城の中は登閣のためだけとし、全国からたくさん来る観光客をスムーズにおもてなしできるような流れが生まれる施設としたい。

(市長) 幅広い提案をいただいた。長期的には、若松城の復元計画の中で、西出丸の駐車場はなくす方向だ。旧学鳳高校は現在、大熊町役場が仮庁舎として使用してるが、引っ越し後には、駐車場としていく。廊下橋の東側のテニスコートは今年度撤去する予定。文化庁からは、昔の形に戻すように指導を受けている。

(市民Hさん) 小さな子供のいるお母さんからの要望だが、市内には悪天候時の遊び場がないので、郡山市のような施設をつくってほしい。

(市長) 郡山市には「ペップキッズ」がある。震災後、放射線量が高いから建てられた。建設費は国から出ており、無料で利用できる。県立病院の跡地利活用基本構想では、機能の絞り込みの中で「子どもの遊び場・子育て支援」をメイン機能としており、今後、より具体的に検討していければと思う。

(市民Iさん) 車が運転できない高齢者が増えると、市役所への行き来の交通手段が問題となる。マイクロバスを活用するなら、マイクロバスが停まれる駐車場のあり方の検討も必要ではないか。また、郡山駅内には、市役所の出張所があり、住民票がとれる。市も同じような小規模の出張所を駅内に開設してほしい。また、恒久的な建物を建てるのではなく、災害時など多目的に活用できる広い空き地があってもいいと思う。

(庁舎室長) 現在、コンビニ、支所、市民センターなど身近な所で証明書がとれる。そういった機能はこれからも充実させていきたい。広い空き地の話もあったが、県立病院跡地においては、防災の機能を必要不可欠な機能として位置づけている。また、バスに絡んだ提案をいただいたが、庁舎でいえば本庁舎に近い神明通りは、バスの便数が多い。車を運転されない高齢の方が利用しやすい環境も引き続き整えていく必要があると考えている。

■その他

(市民Jさん) 鶴ヶ城には、樹齢100年を超える桜がある。後世に残してほしいが、その考えはあるのか。

(市長) 桜の植え替えは行っているが、文化庁から石垣を傷める桜は将来的には伐採の方向と言われている。ご意見として受け止めさせていただきたい。

(市民Kさん) 市長との意見交換会に初めて参加した。市長が自ら説明されたことについて感心した。今後、人口が減少していく中、庁舎の建て替えなどにより今後費用はかさみ、維持管理費も増加すると、将来の子供たちへ大きな負担をかけてしまうことが心配だ。大切なことは、市として将来の構想をしっかり持ち、市民へのぶれない説明、説得をすることだと思う。市民もぶれない理解をしたいと思います。

(市長) 何も対策をしない場合に人口が減っていく推計なので、そうならないように、若い人が働ける場所を増やし、安心して結婚して子供を産んでもらえるように、政策的に取り組んでいくが必要と考える。

(市民Cさん) 夕張市のように財政破たんしないでほしい。また、お城の石碑の文字がぼやけて見えないと観光客に指摘されたので対応してほしい。

(市長) 財政破たんはしない。過去に、財政状況が厳しい時はあったが、今は厳しい財政のルールの中で運営している。石碑については、表示板か史跡なのか確認し、対応したい。

令和元年度 「市長との意見交換会」 実施報告④

- 1 件名 「市長との意見交換会」
- 2 日時 令和元年5月27日（月） 18:30～20:20
- 3 場所 南公民館 会議室1・2
- 4 参加者数 述べ37人
内訳 市民の方25名
記者2名 朝日新聞、河北新報社
市職員10名 会津若松市長
企画政策部 福島部長、鶴川企画副参事
企画調整課 斎藤課長、青山主幹、廣瀬副主幹
佐藤主査、三瓶主任主事
庁舎整備室 佐藤室長、宮崎副主幹
- 5 テーマ 「庁舎整備と県立病院跡地利活用」
- 6 内容及び発言要旨
- (1) 「庁舎整備計画」と「県立病院跡地利活用基本構想」について（60分）※市長説明
- (2) 意見交換（50分）

■庁舎整備について

（市民Aさん）第二庁舎を駐車場とした場合、本庁舎まで距離がある。今後、高齢者も増加していくので、安全面から地下道を設ける考えはあるのか。

（市長） 選択肢の一つと考えている。

（市民Aさん）新庁舎に自家発電機を設置するのか。

（市長） 災害時に庁舎機能を維持するための最低限の非常用電源や水は確保する考えだ。

駐車場について詳しく説明すると、旧謹教小跡地の駐車場については、部室付近を含めて葵高校と協議をはじめており、また、2階建という選択肢もある。第二庁舎（駐車場）から本庁舎までの動線についての安全確保は検討していく。駐車場は分散した方が、本庁舎へのアクセスはしやすいと思う。また、本庁舎の南側・東側道路の拡幅についても検討していく。

（市民Aさん）立体駐車場は検討しているのか。

- (市長) 駐車場のあり方は決定したものではなく、必要な駐車台数を確保できれば現在の案で良いのか、立体にした方が良いのか、さらに検討を進めていく。
- (市民Bさん) 第二庁舎を駐車場にして今の場所に庁舎を建設するより、旧若松女子高校跡地に庁舎を建設すれば、駐車場も困らないのではないかと。現在は、花見の時期に駐車場として開放されている。
- (市長) 今年の春から、行仁小学校の改築に伴い、グラウンドとして活用している。観光シーズンには駐車場としても活用する予定だ。また、庁舎建て替え時には、仮庁舎としての活用も検討している。
- (市民Cさん) 市のホームページをみると、市の人口は20年後には10万人を切り、40年後には6.5万人まで減少すると記載があり、働ける人も減少していく中、借金は390億円もあり、さらに100億近い建物を建設すると、将来の子どもたちへの負担が大きくなってしまわないか。
- (市長) 庁舎整備の財源については、42億円は基金を活用できる。また合併特例債は大変有利な借金で、借りた額の7割は交付税措置され戻ってくるので、実質の借金は多くはないと考えているが、今後も、人口減少や財政状況を踏まえながら財政負担の軽減化について検討していく。震災以降、市役所の業務は複雑化しているが、職員数も定員管理計画により適正な管理を行い、大きな庁舎ではなくコンパクトな庁舎を建てる考えだ。
- (市民Cさん) 人口は確実に減っていく。謹教小は一年生は1クラスだけ、永和小は9人となり、少子化が進んでおり、小学校の統廃合を進めるべきではないか。鶴城小学校の児童数も10年後にはかなり少なくなると予想されるので、鶴城小学校を庁舎として、グラウンドを駐車場として活用することも考える必要があると思う。
- (市長) 鶴城小学校の児童数は6年後まで推計しており、城前団地の整備などにより、現状では微増が見込まれている。
- (市民Cさん) 他の地域の児童数は減少していくのではないかと。
- (市長) 学校の建て替えは行仁小学校が最後となる。
- (市民Dさん) 高齢者が庁舎へ行く交通手段としてバスの活用は考えているのか。
- (庁舎室長) 本庁舎に近い神明通りでは、バスは13路線254便の運行に加え、高速バスも112便が行き来しており利便性は高いと考えており、庁舎を利用する高齢の方においては、こうしたバスの活用も想定される。
- (市長) 現状では、神明通り付近が、一番利便性が高いと理解している。

(企画課長) バス路線は、神明通り、会津若松駅、西若松駅、竹田総合病院を拠点として、定期的に見直しを行っており、今後も、意見をいただきながら、整備を進めていく考えである。

(市民Eさん) 第一庁舎、第二庁舎、第三庁舎をひとまとめにした新庁舎を建設するのか。

(市長) 集約化し、6階建ての統合庁舎を整備したいと考えている。

(市民Eさん) 水道部やごみ処理場との機能の統合はどうか。区長は様々な行政の手続きを行うため、窓口が一か所に集約されれば楽になる。現在地で新庁舎を建てるのが前提の話となっていないか。

(市長) 水道部の機能は統合しない。また、ごみ処理場は10市町村で運営しており、別になる。新庁舎については、これまで、議会の手続きを経て、現在地での建て替えの方向となった経緯にある。また、市民の皆さんが、市役所を訪れる機会はそれほど多くないのではないかとも思う。

(市民Eさん) 今は車社会であり、車を建物のすぐ側に駐車できる低層の大型店舗へ人は流れている。駐車場と建物は離れない方が良くと思う。

(市長) 県立病院跡地へ新庁舎を整備した場合でも、車をとめる場所によっては、かなりの距離を歩くことになり、広い敷地内には車の通路も設置することになることをご理解いただきたい。

(市民Dさん) 区長として頻繁に市役所へ行っているが。

(市民Eさん) 今後もICTが発展していけば庁舎へ行く機会は少なくなる。本庁舎ではなく南公民館で手続きができるし、自宅ですることができるようになればさらに便利となり、市役所に行かなくても良くなる。

(市長) 現在でも、コンビニエンスストアで住民票や印鑑登録証明書、戸籍の交付を受けることができ、今後も利便性の向上に努める。支所や市民センターも利用されている。

(鵜川企副) 北会津・河東支所の窓口においても、本庁舎の窓口に比べて待ち時間がないため、行政の手続きに来る方は多く、市民の方の利便性においては重要な役割を担っている。

(市民Fさん) 南公民館における証明書等の発行件数はどのくらいなのか。多いのか、少ないのか。

(庁舎室長) 住民票と印鑑登録証明書の交付件数は、全体で98,000件、うち、支所・センターは35,000件、コンビニは8,000件、本庁舎は55,000件。南公民館は7,600件で全体の7.7%にあたる。

■県立病院跡地利活用について

(市民Gさん) 旧若松女子高校跡地へ防災機能を備えた「道の駅」や「川の駅」の設置についての考えはあるか。

(市長) 「道の駅」については、そのあり方や機能、地勢上の検討などを含め、庁内において研究段階である。防災機能については、大切な機能と考えている。

(市民Hさん) 現時点では構想段階で、検討や調査を行っている認識しており、今後も具体的な段階で、意見交換会や懇談会は開催するのか。また、構想において事業性が低いと評価されている機能もあるが、必要なものもある。市長はどう考えるのか。

(市長) 県立病院跡地の利活用については、「まちの拠点」となる重要な土地であり、今後、さらに検討を進めていき、節目節目で、市民の皆様へ説明していく。また、事業性については、民間事業者へ聞き取り調査を行った結果であり、財政的な負担を小さくし、最大限のサービスを行うためには、民間事業者とどう連携していくかが重要であり、今後さらに検討を進めていきたい。

(市民Bさん) 新庁舎の整備はこれまで2回頓挫しているが、市長の意気込みを聞きたい。

(市長) 新庁舎整備は、大きな事業で多くの人に関わっており、市民のための庁舎となるよう、整備に向けてしっかり進めていきたい。

(市民Cさん) 今後も人口減少は避けられない。子どもが二人市外にいるが会津若松市には戻らない。今後、増加する高齢者のため老人ホームの建設を検討してほしい。

(市長) 一つのご意見として受け止める。

(市民Iさん) 跡地で、医療廃棄物が発見されて、土壌が汚染されていると聞いたが、そこに子供の遊び場をつくって大丈夫なのか。

(市長) 県が医療廃棄物撤去の対応をしており、市としては県の対応をしっかり確認したうえで、購入することになる。

■その他

(市民Jさん) ごみ処理場の建て替えにおいては、会津若松市の負担が大きく、100億円と聞いている。5月31日発行の「目黒章三郎ニュース」においては、香川県に燃えるごみを発酵・乾燥させて「固形燃料」としてリサイクルする日本初の工場

ができた。同様の民設民営の手法をとれば、経費を100億円浮かすことができるのではないか。

(市長) 事例は一つの手法であり、会津若松広域市町村圏整備組合が整備する施設と規模が異なる。施設規模にあった適切な手法があると考えている。また、整備手法については、構成団体で協議を行い決定している。

令和元年度 「市長との意見交換会」 実施報告⑤

- 1 件名 「市長との意見交換会」
- 2 日時 令和元年5月30日（木） 18:30～20:15
- 3 場所 北会津支所 ピカリンホール
- 4 参加者数 述べ32人
内訳 市民の方21名
記者1名 朝日新聞
市職員10名 会津若松市長
企画政策部 福島部長、鶴川企画副参事
企画調整課 斎藤課長、青山主幹、廣瀬副主幹
佐藤主査、高橋主任主事
庁舎整備室 佐藤室長、青山副主幹
- 5 テーマ 「庁舎整備と県立病院跡地利活用」
- 6 内容及び発言要旨
- (1) 「庁舎整備計画」と「県立病院跡地利活用基本構想」について（60分）※市長説明
- (2) 意見交換（45分）

■庁舎整備について

（市民Aさん） 現在地での建て替えには反対だ。現在地で建て替えることは既に決まっているなら、今回の意見交換会の開催意義は何か。これまで、市民に対し説明をしてきたのか。反対の一番の理由は、駐車場の問題だ。第二庁舎を駐車場とした場合、本庁舎までかなりの距離となり、狭い道路は、冬の通行を考えても危険である。例えば、アーケードの設置など、安全な歩道を設ける考えはあるのか。なぜ、現在地で建て替えする必要があるのか疑問だ。

また、体の不自由な方の駐車場を本庁舎付近に設ける予定となっているが、誘導員を配置しないと、健常者が利用し適切な活用はできないのではないかと。同じ敷地内に、建物と駐車場が確保できれば反対はしない。本庁舎北側の信号のない丁字路も危険だ。市民目線で計画を策定したのか。

（市長） 駐車場については、これまで様々な検討をしてきた。旧謹教小跡地では44台確保する予定だが、葵高校の部室付近への駐車場の設置についても協議をはじめており、部室付近まで駐車場とすれば約100台は確保できる。そして、もし、2階建の駐車場として整備すれば、本庁舎の2階と通路でつなぐこともでき、道路を渡る必要もなくなる。本庁舎の南側については、広い道路や歩道の確保

について検討していく。本庁舎を利用される方の安全確保に最大限に努めていく。

(市民Aさん) 本庁舎旧館を残すことは景観上良いが、その裏側の狭い路地に囲まれた敷地に、市の顔となる新庁舎を建設することが良いのか。来庁者には分かりにくいのではないかな。

(市長) 交通動線については、確定したものではない。必要な駐車台数を確保し、市役所庁舎への誘導を行っていく。今後、本庁舎を利用する方は減っていくと考えており、昔のイメージのような大きな庁舎ではなくコンパクトな庁舎を想定している。また、窓口の集約化により利便性は向上するが、混雑も予想されるので、今後、設計段階において様々な検討を行い解決していきたい。

(市民Aさん) なぜ、現在地で建て替えなければならないのか、なぜ、県立病院跡地ではダメなのか。一番の根拠を聞きたい。

(市民Bさん) 駐車場が不足することは予想できたはずだ。問題点がありながら、現在地で建て替えると決めた理由は何かな。

(市長) 平成22年8月に、鶴ヶ城周辺公共施設利活用構想を策定したが、平成23年に東日本大震災があり、庁舎整備の検討はストップした。平成22年8月の鶴ヶ城周辺公共施設利活用構想を踏まえながら、その後、庁舎検討懇談会を開催し意見をいただき、第7次総合計画に位置付ける形で、議会にも議決をいただいていた。これまで、きちんとした手順を踏みながら検討してきたことをご理解いただきたい。

(市民Cさん) 意見交換会は、決定事項の報告会なのかな。

(市長) 建て替え場所については、これまでの検討経過があり、現在地で建て替える計画となっている。建設にあたっては、様々な意見を聞きながら検討を進めていく。

(市民Cさん) 福島民報新聞(みんなの広場)へ、「若松市庁舎計画見直しが必要では」という記事を投稿し、平成31年2月15日に掲載された。現在の竹田病院においても、駐車場が離れていて大変だという声を聞く。市民が気軽に入れるということが大切であり、駐車場と建物は同じ敷地内が良いと思う。県立病院跡地の面積は25,000㎡であり、そこに新庁舎を整備すれば、駐車場は十分確保できると思う。私は交通安全の活動をしているが、本庁舎北側の丁字路は大変危険だ。道路を拡幅し歩道を設置すると費用もかかるので、約100億円かかると想定している新庁舎は、県立病院跡地へ整備した方が費用が抑えられると思う。

(市長) ご意見として受け止めたい。場所については、これまで議会の手続きを経て進めてきていることをご理解いただきたい。

(市民Cさん) 他地区での「意見交換会」では反対意見はなかったのか。

(市長) 比較すれば、建て替え場所に関しての発言は、ここでは3名の方から意見をいただいております、今回が一番多い。

これまでも、市が実施したアンケート結果や会議については情報発信している。第7次総合計画を策定する時に、現有地での建て替えについて議決をいただいていることは重く受け止めている。初めて庁舎建て替えの話を書く人は、県立病院跡地が広くて良いと思うかもしれないが、これまで、様々な検討、手続きを経てきている。

(市民Aさん) 公道の道路と敷地内の通路の危険性は全然異なる。なぜ、県立病院跡地ではだめなのか。

(市長) 平成22年に策定した鶴ヶ城周辺公共施設利活用構想における「現在の本庁舎敷地に総合庁舎を整備する」という方向性、庁舎検討懇談会からいただいた意見書を引き継いでいくという市としての決断をし、議決をいただいた。現在地でも十分建て替えは可能であること、庁舎が移転した場合の人口の流動化の影響、新たな土地に建設した場合の影響の大きさなどを考慮し検討してきた。県立病院跡地での庁舎整備建設についても、検討はしてきた。その検討の中で、現在地での建て替えが良いという判断をしている。

(市民Dさん) 本庁舎旧館を保存することには賛成だ。本庁舎旧館を博物館として保存・活用すれば、観光資源の一つになるのではないかと。第一庁舎を支所のように活用すれば良いと思う。本庁舎旧館を庁舎として活用するには、廊下、壁、階段などの改修に費用がかかる。新しく新庁舎を建設した方がよい。駐車場を分散するとエレベーター、渡り廊下、エスカレーターの設置など経費がかかる。道路の拡幅にも費用がかかるので、方針の転換が必要ではないか。同じ敷地内に建物と駐車場を設けた方が経費がかからないと思う。

(市長) 新しい場所に新庁舎を整備する場合でも一定の費用はかかる。2階建ての駐車場についても工夫や精査を行えば経費は抑えられると思う。現在地において、利用者にとって安全で利便性の高い実現可能な新庁舎の整備を計画している。本庁舎旧館を庁舎としてではなく、他の利用として残す場合でも様々な課題が出てくるものと思う。

(市民Eさん) 現在地での本庁舎の建て替えについてだが、旧謹教小跡地が活用できれば、駐車場の問題は解決すると思う。駐車場を2階建にし、道路の通行を整理する

など手立てはあると思う。県立病院跡地は、南側しか動線がないので、交通渋滞が起きてしまうと思う。立体ではなく平地で駐車台数を確保する場合、建物から駐車場まで距離が遠くなってしまう。駐車場内での事故は少ないとは思いますが、車が密集すると死角ができるのも事実であり、事故が起こらないとは言い切れない。

旧謹教小跡地で駐車台数が確保できるなら、第二庁舎の駐車場は、市職員の駐車場として活用してもらえば良いと考える。例えば、2階を職員用とし、1階を市民用としても活用できる。大人であれば、第二庁舎から本庁舎への狭い道路でも安全に通行できると思う。

(市長) 違った方向からの意見として受け止める。會津稽古堂でイベントを実施すると、近隣の駐車場も含めて混雑することがあるので、第二庁舎の駐車場を活用できれば、利便性は向上すると考えており、今後、駐車料金のあり方についても検討していく。

■ 県立病院跡地利活用について

(市民Dさん) 県立病院跡地の利活用については、子育て施設・子供の遊びがメイン機能ということだが、周辺に子供は少なく、また、遠くに住んでいる子供はどうやって行くのか。バスに乗っていくのか。誰を対象としているのか、市民のためとなるように検討してほしい。

(市長) 公共交通の実態については、神明通りで254便/日、市役所前67便/日で、市役所西口46便/日、県立病院跡地周辺では、小田垣35便/日、小田垣局17便/日であり、便数を増やすには様々な点を改善していかなければならない状況にある。

子供の遊び場については、郡山にペップキッズがあるが、利用者の多くは車で移動していると思う。

(市民Eさん) 県立病院跡地の利用についてだが、住民のことを考えると医療の充実のため、病院の建設という考えはないのか。会津医療センターは、専門領域に特化した高度医療を提供する病院である。基本構想の9つの機能には含まれていなかったのと同いいたい。また、個人的には映画館建設は厳しいと思う。

(市長) 市内に2つの大きな病院があるが、全国的に医師の確保や病院経営は厳しいと聞いている。また、民間と競合してしまうことにもなる。県立病院が移転したことにより、一時的に不便になった利用者もいると思うが、新たな形でそれぞれ対応していただいていると理解している。

(青山主幹) 平成29年8月にいただいた市民提案の中には、「病院」や「老人の福祉施設」という意見も数件あったが、それを学識経験者や市民の代表者で構成した懇談会の中で、カテゴリーをわけながら、機能の絞り込みを行った。

(市民Eさん) 少数だが意見はあったことは、検討の余地はあったと思う。採算性が低いことと市民生活を守ることは比較できないと思う。官民連携が大前提だったのかもしれないが、市民が生活するために必要な機能を考えるべきではないか。

(市長) 病院を経営するためには、どの科目の診療を行うかの検討が必要で、県立病院は、もともとは総合病院だったが、専門領域に特化した高度医療を提供するようになり、患者数も増加していると聞いている。また、同じような病院を市が建設することにもいかず、市として検討を行う段階でなかったことをご理解いただきたい。会津若松市における病院の配置については、外部の人からは評価いただいている面もある。

(市民Fさん) 県立病院跡地の利活用について一つ提案したい。子どもの遊び場・子育て支援の機能は大変いい案だと思う。子育て中のお母さんは疲れているので、癒しの場を設置してほしい。例えば、有料のマッサージ器を設置しても良いと思う。喜多方市には、マッサージ器が子どもの遊び場に設置している場所がある。

(市長) 貴重なご意見として、しっかり検討していく。子どもの遊び場には親御さんやおじいちゃん、おばあちゃんも来るので、総合的に子育てを支援する場、さらには、現在、市内に分散している保健センターの機能を集約し、検診の場所としても検討していく。

■その他

(市民Cさん) 大川に新しい橋(神指と北会津を結ぶ橋)ができたが、供用開始はいつか。蟹川橋は、老朽化が進んでおり耐久性が心配だ。

(市長) 新橋梁は神指側でまだ測量に入れていないところがあるので、市も協力して地元と協議中だ。蟹川橋の検査状況については、県に確認してみる。

(市民Eさん) 人口減少をとめる、人口を増やすための取組とは何か。

(市長) 人口増加の施策で簡単にできるものはない。若い人が減少していることは事実だが、若い人は、昔から都市部へ流出していた。子どもの数が昔と今では異なり、昔は1,800人/年生まれていたが、今は900人/年だ。そのため、昔は人口が増加していたが、今は減少している。対策としては、雇用、結婚、子育て支援、教育などの取組を連携していくことが必要で、働く場の確保、結婚、出

産の流れを作っていくことが一つの考え方であり、そのために様々な取組を進めている。

(市民Dさん) 人口を増やすためには教育の場を増やすことが必要だ。そのために会津大学を作ったのではないか。

(市長) 会津大学は単科大学であり、1学年240名、大学院生が50～60名。6割が県外から来るが、8割が県外へ出てしまう。残ってもらうために、ICTオフィスビルを建設した。

(市民Bさん) 北会津の合併条件である、東部幹線道路、北会津公民館の建て替えは絶対反故にはできない。これらの事業は新庁舎整備と、同時平行で行うのか。新庁舎整備後に実施するのか。合併特例期間が終了したからできなかったということは、絶対に許されない。早急に進めてほしい。また、懇談会は、市が計画を策定してから行うのではなく、白紙の段階から行ってほしい。北会津認定こども園の整備の時も様々な検討を市民の間で行った。

(市長) 現在、合併特例事業を進めているが、全て進捗しているわけではないが、約束を果たすべく、前へ進んできた。今後、令和7年度までに、何をすべきかという議論もあわせて行わせていただきたい。

令和元年度 「市長との意見交換会」 実施報告⑥

- 1 件名 「市長との意見交換会」
- 2 日時 令和元年6月5日（水） 18:30～20:10
- 3 場所 一箕公民館 会議室1・2
- 4 参加者数 述べ36人
内訳 市民の方25名
記者1名 朝日新聞
会津若松市10名 会津若松市長
企画政策部 福島部長、鶴川企画副参事
企画調整課 斎藤課長、山崎総務主幹、青山主幹、
廣瀬副主幹、高橋主任主事
庁舎整備室 佐藤室長、宮崎副主幹
- 5 テーマ 「庁舎整備と県立病院跡地利活用」

6 内容及び発言要旨

- (1) 「庁舎整備計画」と「県立病院跡地利活用基本構想」について（60分）※市長説明
- (2) 意見交換（40分）

■庁舎整備について

（市民Aさん）本庁舎に近い謹教小跡地の駐車場は便利であり、現在、44台を計画しているが、もっと増やせないか。

（市長） 駐車場として葵高校の部室付近を活用することについて、葵高校と協議しており、活用できれば100台以上確保できる。仮に2階建にした場合はさらに台数を確保できる。また、駐車場の2階と本庁舎の2階をつなぐ通路を設置することも可能である。

（市民Bさん）概算事業費のうち、工事関連費は94億円で、その他費用+ α となっているが、+ α とはどのくらいを見込んでいるのか。

（庁舎室長）工事費以外の備品や設計・監理等の諸費用であり、まだ算定していない部分が多くあるが、億単位になるものと想定している。

（市民Cさん）シンボリックなものとして本庁舎旧館を残すことはうれしく思うが、建物の維持管理には費用がかかるので、會津稽古堂のように駐車場は有料にして財源としてほしい。

（庁舎室長）新庁舎の維持管理費は約2.2億円/年と試算している。現在の庁舎の維持管理費は約1.6億円であるが、これは、現在の庁舎面積が約10,000㎡なのに対し、

新庁舎の面積は約 16,000㎡を想定しており、面積が増えるといったこともある。今後、設計段階において、維持管理費を低減できる手法などについても設計段階において検討していく。駐車場の有料化については、他地区での意見交換会においても意見をいただいているので、今後検討していく。

(市長) 具体的には、平日に市役所に用事があって利用される方は無料、土日の開放時については有料化も可能と考えており、また、駐車後一定時間は無料としている事例も多いので、今後検討していく。

(市民Dさん) 建て替え時は窓口や職員はどこに移動するのか。仮設の建物を用意するのか。

(市長) 現在地で建て替えするためには、引っ越しが必要で、第二庁舎に窓口業務を集約し、その他の部署等は旧学鳳高校の建物や河東支所などを仮庁舎として活用することを検討している。また、第三庁舎はそのまま活用する予定であり、当然、サービスの質を落とさないように、引っ越し作業を行う。

(市民Dさん) 本庁舎にある会津地方市町村電子計算機管理運営協議会の事務所や関連する様々な機械の引っ越しは大変ではないか。

(鶴川企副) 現在、事務所機能は河東支所にあり、データを保管するサーバーは会津 iDC で管理している。引っ越しには影響しない。

(市民Eさん) 2018年3月に、国立人口問題研究所は、今後30年で地方の人口が3割減少すると予想した。市の人口を12万人とすると、84,000人まで減少してしまうことになる。これからもっとITが発展していくと、人の仕事の4割がITに替わると言われている。市民の意識改革が必要となる。今後は、市役所に来なくても行政手続きが行えるようになる。高齢者の交通事故が増加している中、本庁舎まで来なくても、公民館や支所などの身近なところで、手続きや相談が行えることは住民負担の軽減につながる。

郡山市長は、土日の公務をなるべく減らすことにより、市職員の負担を減らすなど、小さなところから改革を行っている。

今後、地球温暖化がますます進み、小中学校の教室にもエアコンが整備されてきているにもかかわらず、行仁小学校は屋上にプールを建設する計画である。まだ、間に合うのであれば、事業変更するなど、柔軟に対応していくことが必要だ。

これから、新庁舎を建設する中においても、技術革新が進むので、当初の計画に縛られず、予定を変更するなど、その都度、柔軟に対応してほしい。

駐車場の有料化は、無断駐車を抑制するためにも賛成である。

国は、行政手続きの全国的統一をする計画を打ち出している。

これから人口減少は進むので、市内でも廃校は出てくると思う。そういったことを考えながら10年後20年後の市全体を見据えて庁舎を建設してほしい。

(市長) 重要な視点からの意見をいただいた。今後、市役所に来なくてもスムーズに手続きができる時代は来ると思う。

駐車場の有料化については、一定時間は無料で、それ以降は有料としている事例も多いが、市役所を利用される方の状況に応じて、柔軟に対応することは可能と考えている。

■ 県立病院跡地利活用について

(市民Fさん) 鶴ヶ城の周りには公共施設（城前団地、多目的広場、野球場、鶴ヶ城体育館、文化センター）が多くあるので、意見書にある9つの機能については、県立病院跡地だけで実現するのではなく、周辺の公共施設を含めた中で実現できるのではないかと。それが人の流動化につながると思う。

今日雨が降った時に、修学旅行の子ども達が、鶴ヶ城から県立博物館の駐車場へ道路を歩いているのを見かけたが、狭い歩道を雨宿りする場所もなく雨に濡れて歩いていた。

一方で、近年インバンドも増えているが、大切なのは、情報発信ではなく設備投資だ。鶴ヶ城の周辺には何の施設もない。サムライシティ会津を訪れたインバンドの方は、鶴ヶ城の周辺にも魅力的な施設があれば、SNSで情報発信してくれるが、今の状況では難しいと思う。

また、近くの小田垣商店街においても、観光客を歓迎する雰囲気はない。市として、情報発信は行っていると思うので、広い意味での設備投資を検討してほしい。県立病院跡地の活用だけを検討するのではなく、鶴ヶ城、周辺の公共施設、県立病院跡地がそれぞれの役割を担い、一つのエリアとして考え、市民も集えるような、統一感のあるまちづくり、雰囲気づくりを行ってほしい。

(市長) 景観には最大限配慮していく。貴重な意見をいただいた。

インバンドについては、個人で来る欧米系の方と団体で来るアジア系の方がいる。主要観光地をまわるのが団体旅行であり、観光客が観光地から情報発信できるようにWi-Fiの設置について対応している。当然、周辺の施設整備も必要だが、まずはWi-Fiの整備を進めていく。思いをしっかり受け止めていきたい。

(市民Fさん) 県立病院跡地を観光客の駐車場として活用しているとのことだが、車を駐車してから鶴ヶ城まで歩く間に何も見るものがないのが現状だ。城前団地はあの場所でもいいのか。

(市長) お城に来た観光客の滞在時間が長くなるように、これからも最大限の努力はしていく。現在は、観光客の方が県立病院跡地の駐車場からお城へ早足で歩いている状況だ。富岡製紙場の周辺道路の両側は賑わっており、観光客は楽しみながら歩いていた。人が楽しめるような集客につながる取組などを行政だけではなく、小田垣商店街の方と一緒に考えていければと思う。

(市民Gさん) 私は、子育て支援の活動をしている。メインの機能として、子育て支援の機能が入っているのは大変うれしい。現在、會津稽古堂で活動しているが、駐車場が有料のため長い時間のイベントが実施しにくい状況であり、県立病院跡地においては、ぜひ駐車場を無料にしてほしい。

また、県立病院跡地には、母子保健センターの機能を入れてほしい。現在、検診などは北会津や河東の保健センターで実施しているが、車がない方は行きにくく、困っていると聞いている。ぜひ、市内の中央部に設置してほしい。

(市長) 子どもの遊び場・子育て支援の機能については、メイン機能として位置づけているが、詳細についてはご指摘いただいたことを踏まえ、今後、検診の機能を含め検討していく。駐車場については、必要な方が利用できるように検討していく。

(市民Aさん) 孫が東京に住んでいるが、東京には、芝生や室内の子どもの遊び場が多い。ぜひ、会津若松市にも芝生と室内の遊び場の両方を設置してほしい。

(市長) そういった内容の基本構想を策定したところである。

(市民Eさん) 私は24時間使用できる施設にしてほしいことと、子どもから高齢の方まで利用できる施設を希望する。例えば、100人規模の小さい映画館で良いが、土日は子ども向け、日中は高齢の方向け、夜は若者向けの映画を上映できないか。また、スクリーンは、講演会やサッカーの研修会など多目的に活用できる。駅前のリオンドールは朝7時から営業しており、コンビニより大きくスーパーより小さく、薬の取り扱いがあり、地元の農産物の販売があれば便利である。スマホで野菜を撮影すると、おいしく見えるなど、技術開発はどんどん進む。法律相談から医療診断など、AIを活用した取組も可能ではないか。

会津大学の元学長が、IT化が進めば銀行の店舗数は減ると16年前に予見していた。素人と専門家の認識は異なり、専門家には先見の目があるので、ぜひ、専門家の意見を取り入れながら検討を進めてほしい。

また、先程も意見が出たが、城前団地はその場所以外でもよく、お城の周辺にふさわしいものを整備すべきである。例えば、城前セブンイレブンの前の道路を東に向かうと、二中のグラウンドがあり、その先は城前団地があって、またその先に県立病院跡地がある。民間の土地を取得しなくても、県立病院跡地

から西側へ広い道路を整備できる可能性があると思う。現状だけでなく、将来の可能性を含めて検討を進めてほしい。

(市長) 多岐にわたるご意見をしっかり受け止めたい。

■その他

(市民Hさん) 市の財政状況が心配である。庁舎整備や県立病院跡地利活用、さらに老朽化した公共施設の改修などを合わせると数百億円、場合によっては市の財政規模の500億円程度が必要になるという記事を読んだことがある。今回の2つの事業の実施によって、10年先、20年先、健全な財政運営を行うことができるのか。財政状況は大丈夫なのか。今後、市の人口が減少すれば、税金も減るが、それをどのように支え、大型事業を実施するつもりなのか。20年後、30年後、にぎやかな市になっているのかイメージできない。

(市長) 人口が減少し、市税収入が減少することは想定しており、第7次総合計画の策定時に、財政計画を策定し、前半5年間は数字で後半5年間は文言で示し、議会にも了解を得ている。そういう視点を持ちながら事業を実施している。中でも私は、国の動きを一番注目している。国は、地方財政計画を毎年策定し、地方へ配分する交付税の額を決めているが、そのルールを変更しないかどうかを注視している。合併特例債は、元利償還金の7割が交付税として戻ってくる有利な借金だが、本当に戻ってくるのかどうか。約束を守ってくれるのか。本市の人口が減少している割には、市税収入が大きく落ち込まない理由の詳細な分析は難しいが、民間投資が大きいことは一つの理由と考えている。これまで、様々な企業が会津へ進出し投資を行ってくれたが、今後についても社会経済情勢を注視しながら収入を慎重に見極めていく必要がある。

支出については、年間総額予算主義を原則とし、総枠配分方式のルールの中で予算編成を行っており、議会へ提案している。庁舎整備や県立病院跡地利活用の事業実施においては、膨大な借金をするわけではないことをご理解いただきたい。

これまで私が市長に就任してから学校の改築事業に90億円程度、耐震化事業に40億円程度をかけてきたが、一旦終了となる。また、湊地区の給水施設未整備地区においても7億円程度の事業を実施してきたが、だんだん終了となる。さらに、以前は老人福祉施設の建設に大きな補助をしていた時もある。

事業のスクラップアンドビルドを行い、財政シミュレーションをしながら事業を実施している。最近は、ごみ処理場の建て替えの話題もあるが、建て替えをしなければごみが処理できなくなる。しっかり説明をすれば理解してもらえ

と思う。責任ある行政運営を行っていくので、信頼してほしい。もちろん、議会のチェックも入るので、冷静にみていただきたい。

最後に、市は、扇町の土地区画整理事業を行ってきたが、住宅の建設など民間投資が行われており、経済が回っている。無謀な投資はダメだが、経済を回すための投資は必要と考えている。